

2年間の集大成 輝く技術!

18期生卒業制作 自分たちの作品を発表

カレッジ通信

発行
東京建築
カレッジ

20期生選考会
3月17日(火)
午前10時から
いづれも池袋校にて。

最後です。
宜しくお願いします

4つのグループがパワーポイントでプレゼン。

2月22日(日)に2年生の卒業制作発表会が行われました。カレッジでは2年生になると4月から卒制のゼミが行われ、この発表に向けて個々の課題を研究しています。テーマを考え仲間を作ったり、予算や工程、材料

から設計まで自分達で考え、講師・指導員と何度も議論しながらこの目標に取り組んできました。

放課後製作

11月になると授業終了後の午後7時ぐらいから、それぞれのグループが資料をかき

集めて設計に取り掛かっていました。手描きやCADを駆使して、この段階でも学んだ技術を活かしていました。

しかし、構想と現実とのギャップに悩み、製作物の変更や、他のグループに加えるなど、簡単には進みませんでした。



発表会が終って記念撮影。皆充実感皆あふれる表情です。

間に合わない!

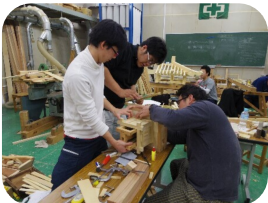
年も明け、1月からは卒制だけを行う授業の日がありました。1日をフルに使って製作していましたが、日程と進捗状況を考え、放課後終電まで作業している研修生が多くなりました。



1人制作の戸袋。技能五輪予選後からスピードアップ。

いよいよ発表の前週の日曜日の特別卒制授業になると、ある程度完成が見えてきましたが、それでも安心できる状況ではなく、平日の仕事の空いた日や、仕事終わりにカレッジに集まり、深夜まで作業していました。

神輿班の製作風景
御柱の取り付け。



発表会

当時の朝になると、全ての班が完成しました。午後からの発表に向けて準備が終ると、つかの間の休息がとれました。定刻になり、会場には人見委員長はじめ本部署員、校長、講師、指導員、OB、事業主、19期生入学予定者まで、多くの皆様が所狭しと集まってくれました。来賓の方々の挨拶が終ると、いよいよ発表となります。パワーポイントを使ってプロジェクトで制作の目的や苦労したところ、これから活かしたいことなどを、

20期生の選考会に6名が受験

2月24日(火)の選考会に6名が受験しました。これで合格者は24名です。3月の最終試験にも受験予定が数名いまして、目標の30名が見えてきました。これも各支部の皆様の奮闘のおかげです。また、職人さんを週に2日もカレッジに送り出さなければならない事業主さんにも多大な感謝をいたします。

一息つく間もなく、新年度が始まります。これからもカレッジをよろしくおねがいします。



階段班からの発表。
やや緊張ぎみか。



完成間近の一時
余裕の表情

プレゼン用にまとめて発表しました。発表の仕方も工夫して、今後の仕事に役立てるようにそれぞれ考えています。(裏面へ続く)

トップは廻り階段
班。3人のグループ
です。実習で作った
物より高度な五段階
段です。今後の仕事
に活かせるよう、施
主から依頼された意
識して良い物を作
ろうとしてきました。
試行錯誤しながらの
制作について、班最
年少の大工の研修生
が進行し発表しまし
た。「最後に仲間達
と一緒にものを作る
のは楽しかった」と
プレゼン終了後の感
想でした。



階段班の制作風景
次期パンフの写真撮影中

次は戸袋班。こち
らは1人で制作です。
1月途中までは青年
技能五輪の東京都予
選の練習に時間を使
っていたのですが、何
とか作り上げました。
かねてから造作をや
りたいと思い、川崎

の民家園の80人工
掛けて作ったといわ
れる戸袋に影響を受
け制作しました。木
製の戸袋を作ること
は今後なくなるだろ
うと思い、納まりの
方法など全て自分で
考え制作しました。



プレゼン作成も1人で。
大工道具もパソコンも扱う。

「1人でやりきるこ
とができたら、この
2年間で学んだこと
の証明になる」と語
っていました。

最大グループ

三組目は子供神輿
班です。地元の子ど
もたちに担いでもら
いたい、卒業してか
らも神輿を使うとき
に皆であつまる、カ
レッジのアピールに
なるなどをコンセプト
に制作しました。
班員それぞれの役割

を決め、個々が責任
を持って作業しまし
た。プレゼンもそれ
ぞれが任されたパー
トを自分の言葉で発
表しました。



完成した子供神輿を
使って説明。慎重に扱う。

発表を終えて「仲間
がいたから完成でき
た」「このグループ
で良かった」「仲間
達が、これからこの
経験を活かしてほ



完成した二軒反り隅木。美しい青森ヒバを使って
仕上っている。試作品を杉材で一度作ってから制作した。

最後は

しい」などの感想が
上がりました。
二軒反り隅木（ふ
たのきそりすみき）
班。これは社寺仏閣
の軒先を縮尺モデル
化したものです。な
んども設計変更しな
がら日本建築の美し
い屋根の形を作り上
げました。規矩術を
使い勾配を計算し、
手刻みによって完成
された隅木はとても
美しい曲線を描いて
ました。「時間が掛
かりすぎてしまい、

苦しかった」、「協
力し合い楽しくも苦
しい卒制が終わり、
達成感で一杯です」
とそれぞれ作り終え
た感想でした。

これで全班的発表
が終わり皆疲れてい
ましたが、充実し達
成感のある表情が印
象的でした。18期
生の皆さんお疲れ様

1・2年生合同 OJT報告会

2月27日（土）は
2学年合同でOJT
報告会が行われまし
た。これは研修生が
普段自分がどのよう
な事業所でどんな作
業をしているかを発
表する授業です。ま
た、報告後は班分け
をして、自分の仕事
や他人の仕事につい
て討論しあいます。
日頃、同じ校舎にい
ながら、あまり関わ
ることのない1年生
と2年生ですが、建
築の仕事を通して、
共通する課題や疑問
を話していました。



自分の現場の苦労や
悩みなどを話してい
ても、なぜか楽しそ
うに見えてしまうの
は、同世代同士で共
感できる何かがある
からでしょうか。技
術を学ぶ以外のカレ
ジの良さでもありま
す。「皆の仕事を知
れて、自分の仕事の
仕方も見直そうと思
う」とレポートにあ
りました。

松田フールド



普段力学を教え
ている松田先生。
10年ほど前から
卒制の苦楽を一緒

に味わおうと、松田先生も制作
発表を始めました。今回のテー
マは「宙」空中にある集会場の
模型です。さて、来年はどんな
ものができるでしょうか。

ミニミニ通信

今回初めて卒制
に関わりました。
初めは一体どんな
ものができるのか
全く見えなかった
のですが、日を追
うごとに完成が近
づいてくると見て
いるほうも嬉しく
なりました。それ
なら作っている本
人達のできあがっ
たときの喜びはど
れ程のものでしょ
うか。仲間同士や、
あえて1人でやり
通したことは一生
の思い出になると
思うと、研修生を
見ていて羨ましく
なりました。